

# 細木あけみ議会だより

## 第10号

発行  
令和7年8月

細木明美事務所

〒690-0332  
松江市鹿島町佐陀本郷27-3  
携帯  
090-4577-8002  
E-mail  
info@hosogi-akemi.jp  
ホームページ  
http://www.hosogi-akemi.jp

### お盆を迎えて思うこと

今年は、6月のうちに梅雨明けし、雨の降らない7月から、毎日「暑い！暑い！」と言っているうちに、8月お盆を迎えました。

13年前に父が他界してから、見よう見まねで仏壇を飾り、母に「これで良かったかいね」と確認してお盆を迎えていましたが、その母も昨年11月に亡くなり、今年は初盆でした。今まで一人で帰って来ていた父も、今年は母と二人で仲良く(?)帰って来たことでしょうか。そんなことを思いながら、提灯の明かりに照らされた仏壇を眺めている、何とも言えない落ち着いた空気と穏やかな時間を

を楽しみました。

さて、今年も平成17年の合併から20年になりますが、市内中心部も周辺部もどこも様々な課題を抱えています。人口減少、少子化、地場産業の後継者不足など、その地域に合った地域振興策を施して、地域の力を高める必要があります。「誰もが住み慣れたまちに住み続けられるように」高齢者にも目を向け、また若者からも選ばれるまち、魅力あるまち松江になるように、そんな思いでこの4年間、しっかりと取り組んでまいります。

細木 明美

### 5月臨時議会において「副議長」に就任しました!

令和7年5月15日開催の臨時議会において、正副議長の選出とともに、常任委員会や特別委員会等の構成委員と正副委員長が決定しました。私は副議長に就任いたしました。

これはひとえにご支援いただいたおかげです。皆さま方のおかげだと思っております。心から感謝申し上げます。そして、これまでの諸先輩方からの温かいご指導と多くの経験をさせていただいたことに感謝をし、今後はそれを更に

活かして、議会での自分の役割を自覚し重責を担ってまいりたいと思っております。

任期は2年です。既に公務が増え、議長に代わり様々な会に出席したり、挨拶をする機会や県外への出張もあります。また、議事本会議の一般質問において、概ね二日目、三日目の午後に議長に代わって議長席に座り、議事進行も行いますので、ご覧いただけたら嬉しいです。健康に留意して、しっかりと務めたいと思います。



### 会派「誠政松江」発足

このたびの改選を機に、5人の議長経験者を含む多くのベテラン議員の皆さんがご勇退されました。そのため、選挙前の4月1日に旧明政会(6人)と旧松政クラブ(7人)が一緒になり、新会派「誠政松江(せいせいまつえ)」を結成しました。改選後は、新人4人を含む総勢12人の最大会派となり、議長、副議長、監査委員の議会三役など、主要ポストを担い松江市議会を牽引する責任



地元国会議員(東京事務所)へ要望書提出

会派としてスタートしました。

- 会派構成員は次のとおりです。
- 森脇勇人議員(6期目・美保関町) 会派会長、総務委員会、議会運営委員会(委員長)、島根原子力発電対策特別委員会(委員長)
- 野々内誠議員(5期目・東出雲町) 議長、経済委員会、市街地整備対策特別委員会
- 柳原治議員(4期目・西谷町) 会派幹事長、総務委員会(委員長)、議会運営委員会(副委員長)
- 米田とぎこ議員(3期目・八雲町) 監査委員、建設環境委員会、公共交通対策特別委員会
- 細木明美(3期目・鹿島町) 副議長、教育民生委員会、島根原子力発電対策特別委員会
- 原田守議員(2期目・雑賀町) 経済委員会(副委員長)、議会運営委員会、島根原子力発電対策特別委員会(副委員長)
- 三島明議員(2期目・西津田) 総務委員会(副委員長)、議会運営委員会、市街地整備対策特別委員会(委員長)
- 小澤一竜議員(2期目・東津田町) 教育民生委員会(副委員長)、土地利用制度調査特別委員会
- 佐藤和彦議員(1期目・宍道町) 建設環境委員会、島根原子力発電対策特別委員会
- 長谷川浩司議員(1期目・玉湯町) 教育民生委員会、市街地整備対策特別委員会
- 岩田幸子議員(1期目・山代町) 建設環境委員会、土地利用制度調査特別委員会
- わたなべ良平(1期目・国屋町) 経済委員会、公共交通対策特別委員会

### 新たな特別委員会を

#### 設置しました

既存の「島根原子力発電対策特別委員会」に加え、新たに「公共交通対策特別委員会」「土地利用制度調査特別委員会」「市街地整備対策特別委員会」という3つの特別委員会を設置しました。議会として松江市が抱える大きな課題解決に向け、しっかりと取り組んでまいります。

### 9月定例会日程

- 9月9日(火) 本会議(会期の決定、提案説明) 決算特別委員会
- 9月16日(火) 本会議(一般質問)
- 9月17日(水) 本会議(一般質問)
- 9月18日(木) 本会議(一般質問、議案質疑、委員会付託)
- 9月22日(月) 決算特別委員会(質疑、分科会付託)
- 9月24日(水) 25日(木) 総務委員会・予算委員会総務分科会・決算特員会 総務分科会
- 9月26日(金) 29日(月) 経済委員会・予算委員会経済分科会・建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会・決算特別委員会建設環境分科会
- 10月2日(火) 決算特別委員会(分科会長報告・質疑、討論、採決)
- 10月7日(火) 本会議(委員長報告・質疑、討論、採決)

# 令和7年2月 定例会一般質問の内容

今回は、議員2期目の任期最後の質問となった令和7年2月定例会に行った一般質問の主な内容を紹介します。

## 〔令和7年2月定例会〕

### 地域振興「まちづくり」

(質問) 市長の地域振興、まちづくりに対する思いについて伺う。先の議会でも、原発立地自治体としての松江市における地域振興とはどういうものか、どう進めていくのかと問いつけたが、明確な答弁がなかった。コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを目指すことに異論はないが、具体的にどんなものか、市長の思いが伝わってこない。

(回答) これまでも直接地域や現場に向かうことを重視して、地域ごの実情や住民の皆様の悩みや不安などについて、積極的に捕捉、また把握するとともに、私自身のまちづくりや地域振興に対する熱意や考え方についてお話ししているつもりだが、それが伝わり切れていないとの御指摘なので、真摯に受け止めて、市民の皆様、議員の皆様と共に感じていただけのように、さらに精進していく。コンパクト・プラス・ネットワークの形成については、既存の集落において、医療機関、福祉施設、商業施設などの生活サービス機能や住居機能の維持向上に努めるとともに、中心市街地や集落同士を交通ネットワークで結ぶことにより、市内のどこにいても、生活に必要なサービスやコミュニケーションにアクセスできる暮らしを実現することを念頭に置いている。(上定市長)

(質問) A-Iデマンドバス導入にあたって考えるべき課題や松江市への適正、経費など将来的な問題について検討されたのか伺う。

(回答) 議員御指摘のとおり、新たな交通モードを導入する際には、その効果はもとより、想定される課題や対応策、また経費などについて慎重に検討する必要があると考えている。現在、4地区においてまっせのーとを運行しているが、利用促進協議会をはじめとする地域の皆様と連携を図り、より利用しやすいサービスとして、持続可能な運行形態について引き続き検討していく一方で、A-Iデマンドバスの特性やメリット・デメリットについて検証を行い、今年度末を目途に、今後の導入方針をまとめることとしている。この方針も踏まえ、定時定路線とA-Iデマンドバスの2択ではなく、乗合タクシーなど新たな交通モードの導入や、既存バス路線のルート変更、ダイヤ改正などについてコスト面や他の公共交通への影響も含めた率直な議論を行い、地域の実情に合わせた交通モードを検討していく。(永井まちづくり政策監)

(質問) 今後のまちづくりにおいても重要であり、市民生活を守る大切な公共交通を維持していくための財源確保についての考え方を伺う。

(回答) 本市の公共交通に係る支出額は、令和5年度決算額で約12億円

であり、概ね10億円であったコロナ禍前と比べると高い水準で推移しており、今後もこの傾向は続くものが見込んでいる。公共交通で暮らしやすい未来を実現するプロジェクトチームでは、財政負担の考え方についても方針を示しており、公共交通をコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを実現する上で重要な社会インフラと位置づけ、国、県の財源も有効活用した上で、本市として支えていくこととしている。利用者や交通事業者の理解、協力の下、経費縮減と運送収入増加の取組を進め、市民の皆様が暮らしやすく、出かけたくなるまちづくりに貢献できる公共交通維持に必要な財源を確保していく。(永井まちづくり政策監)

### 松江と出雲の今に思うこと

(質問) 出雲市と松江市の人口は、その差がどんどん縮まっており、このままでは近い将来逆転されてしまう。人口だけでなく、観光地としての人気、魅力的な商業施設や宿泊施設、飲食店や新規出店も出雲市の方が多いように思う。松江市と出雲市



の現況、これからの姿について市長の見解を伺う。

(回答) 人口減少社会となった今、住む場所、働く場所として選ばれる魅力的なまちとなることが重要であると考えている。住民ニーズも多様性を増す中で、一人一人が自分のやりたいことを選択でき、背中を押してもらえらる自由度の高いまちづくりの必要があるものと認識している。本市は、これまで線引き制度により用途地域を指定して、規制によるまちづくりを行ってきた。このことにより、秩序ある市街地の形成や乱開発の防止、農地の保全という目的が達成され、一定の効果をもたらしてきたものと捉えているが、時代が大きく変化する中で、新たな土地利用制度の創設に着手したところである。出雲市は、線引き制度は採用しておらず、本市と比べて平野が広がっており、まとまった土地が確保しやすいように、商業地の平均価格は本市より低く、こうした要因から、住宅や商業施設、宿泊施設などが郊外に立地しやすい環境になっている。出雲市とは、いたずらに競争するということよりは、連携、連帯、交流を図り、相互で補完関係、相乗効果を狙っていききたいと考えている。(上定市長)

### 松江市のまちづくりと歴史文化について

(質問) 松江市の財産である歴史文化を、まちづくりの基礎とする歴史まちづくりを松江市の進む方向として相応しいものと認識し応援してきてきたが、上定市政になり歴史まちづくり部を解体し、歴史まちづくりの看板を下ろしてしまったことが、マン

ションや太陽光発電などの開発業者の松江市に対する印象に少なからず影響を与えたのではないかと。松江市のまちづくりへの歴史文化の関与について市長のお考えを伺う。

(回答) 歴史や伝統、文化を守り、生かしたまちづくりを進めることは、松江にしかないまちの魅力や価値を高めることになると考えている。令和4年4月の再編は所管業務の集約と機能強化を図ったもので、歴史、文化を活用したまちづくりの方針には何ら変わりはない。松江市の歴史的风致維持向上計画(通称歴史まちづくり計画)に掲げる歴史的建造物の保全と活用、良好な景観の保全といった方針に基づき、文化財の保存修理や修景、道路の美装化など、歴史、文化を生かしたまちづくりに取り組んでおり、本市として歴史まちづくりの方針を堅持している。(上定市長)

### 編集後記

だんだんと暑さが収まるころとされる「処暑」を迎えましたが、残暑厳しい日が続いています。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉にすぎり、この暑さもあと一か月辛抱しようと思っていた矢先の気象庁の発表に、力を落とした方も多いのではないのでしょうか。「全国的に向こう3カ月の気温は高いでしょう」10月生まれが1番好きな秋は、今年やって来るのでしょうか。皆様どうぞ健やかに過ごしてください。